

請願 委員会で 不採択

22日文教常任委員会不採択、最終27日の本会議で決まります

市民の願いが通る議会に

6月議会

貴生川の公立園の保護者や区長会から出された「市立の貴生川幼稚園や保育園を残してほしい」また、「一方的な廃園ではなく納得のいく説明と情報公開を」の請願は、22日の文教常任委員会（安井・石川議員が紹介議員として参加）で賛成・反対が同数となり、中西委員長も採決に加わり3対4で不採択となりました。最終日27日の本会議で委員長報告を受け全議員で採決されます。

ぜひ傍聴にお越しください。

賛成委員	反対委員
小松正人	服部治男
今村和夫	岩田孝之
木村靖男	橋本恒典
	中西弥平衛

一般質問

震災や福祉・教育、くらしを守る市政に

山岡光弘議員



山岡議員は、東日本大震災での福島原発事故を受け、80キロ圏内に位置する甲賀市の今後の原発に対する問題と防災に強いまちづくりをと、福井原発の研修をもとに迫り、地域防災計画の見直しを約束させました。

次に自治振興会と地域市民センターの問題点や、地上アナログ波全面停止・地デジ波移行を直前にしての対策はどうか。甲南防災無線について、「要支援者」むけの介護保険サービスについて質問しました。

小西喜代次議員



小西議員は、国保法4条に基づく減免制度が7月から実施されるが、対象は、災害や事業の休廃止などで減免は入院のみ。外来への拡大や低所得だけを対象とすべきだと提案。また、暮らしが大変ななか「今年度削減された修学旅行補助金の復活を」と迫りました。信楽黄瀬地先の「隼人川みずべ公園」へのトイレ設置をとの質問に、今後検討を約束。

雲井地域から長野地域への直通バスの実現を求めました。

小松正人議員



小松議員は、4項目のうち特に「市民の声を大切に、公立貴生川保育園・幼稚園の存続について」、次の質問を重点的に行いました。

1. 基本的な考え方として一番に誰のことを考えて両園を廃止するのか。
2. 財成が厳しくとも、子どもの未来や教育にこそ税金を使うべきだ。
3. 市の廃止計画は、手続きなど不透明で、もっと民主的に進めるべきだ。
4. 説明責任を市民や保護者に十分果たしていないがどうか、などです。

安井直明議員



安井議員は、4月開設の地域市民センターの業務量と人的配置などについて、市民の声に配慮するものになって

いるのか。放射線汚染との関連で、原発近郊の野菜等を学校給食に使うべきでないという主張。また、甲賀市税・料金等収納向上対策強化三箇年計画は、納税者を苦しめるだけで「愛ある行政ではない」と批判。暮らしが大変ななか、生活保護法の家屋補修と通院移送費は、「保護者にきちんと説明し支給すべき」と追及しました。

6月18日(土)午前9時より 国民平和行進甲賀・湖南を歩



市長・議長の激励を受け、核兵器廃絶をめざし、広島・長崎の世界大会に向け原水爆禁止平和行進が行われました。市役所前を出発し、正午には湖南市役所（旧石部町役場）に到着しました。市議団は、毎年参加しています。

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2011年6月26日 NO. 94



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光弘
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765